北空知地域リハビリテーション活動支援事業の実践報告

深川市立病院
北空知地域医療介護連携支援センター
作業療法士　赤松充敏

1．北空知地域医療介護確保推進協議会の設置

・北空知地域は1市4町（深川市、妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町）　人口26,651人の圏域である
・急速な少子高齢化と人口減少により、2025年以降**高齢化率46.6%　介護認定率19.5%と予想**されている。

・平成28年3月に**『北空知地域医療介護確保推進協議会』**（以下、協議会）を設置し、地域支援事業で定められた「在宅医療・介護連携推進事業」を1市4町共同で実施する。

【協議会構成と委員】

北空知地域医療介護確保推進協議会

- 関係市町
- 保健所
- 深川医師会
- 深川市立病院
- 深川地区消防組合
- 介護サービス事業所

会　長：深川市長　　副会長：深川医師会

委　員：妹背牛町長　秩父別町長　北竜町長　沼田町長

深川保健所長　深川市立病院院長　深川地区消防組合消防長

社会福祉法人揺籃会理事長　　社会福祉法人北海道中央病院理事長

北空知介護支援専門員連絡協議会長

会長 深川市長より挨拶

協議会にて地域リハ事業報告

2．北空知地域医療介護連携支援センターの設置

・協議会は、地域包括ケアシステムの構築にあたり業務の一部を深川市立病院へ委託し、平成28年7月**『北空知地域医療介護連携支援センター』**を設置する。

北空知地域医療介護確保推進協議会

運営会議

北空知地域医療介護連携支援センター ← **深川市立病院**

【Ⅰ：医療・介護情報共有支援部会】
・地域医療と介護資源把握
・関係者間の情報共有支援

【Ⅱ：退院調整・在宅生活支援部会】
・在宅医療と介護の提供体制の構築推進
・センターとの連携と調整

【Ⅲ：多職種連携・地域啓発部会】
・医療と介護関係者の研修会実施
・地域住民への普及啓発
・**地域リハビリテーション活動支援事業**

・ICT活用医療介護連携ツール導入
プロジェクトチーム
（R2年6月開始～11月終了）

・新型コロナウィルス感染対策
連絡協議会　プロジェクトチーム
（R2年10月開始～）

※プロジェクトチームは特定事項を
担当する専門部会として臨時設置。

3. 北空知地域リハビリテーション活動支援事業について

・平成28年7月北空知地域医療介護連携支援センターに従事する**リハビリ専門職（作業療法士）を専任1名配置**する。

・北空知地域の通所、居宅、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等へ派遣し、**北空知地域全体の介護予防の機能強化を図る。**

・令和2年度より専任作業療法士1名の他に、深川市立病院 **作業療法士6名**が協力する。

・令和4年度より**言語聴覚士2名**が加わる。

支援内容は６項目

※1次～3次介護予防に
幅広くリハビリ支援！

通所訪問

居宅訪問

地域ケア会議

担当者会議

介護予防事業

スタッフ研修会

4．委託事業経費と市町負担について

・**委託料内容**　　①**基本経費**：**人件費**～作業療法士給与費実費額×0.9人工。
車両経費～レンタル料

②**事務費**：消耗品、燃料費、備品、保険料等

・**各市町負担金**　①+②の総額を、基礎割(20%)、高齢者人口割(40%)、総人口割(40%)に応じて按分する。

地域リハビリ専用車にて
保健師・CMと訪問をします。

自助具・杖・歩行器・福祉用具で
荷台はいっぱいです

OT室一角に専用デスク、PC3台、
プリンター、携帯電話等を設備。

5. 派遣依頼方法と書類提出について

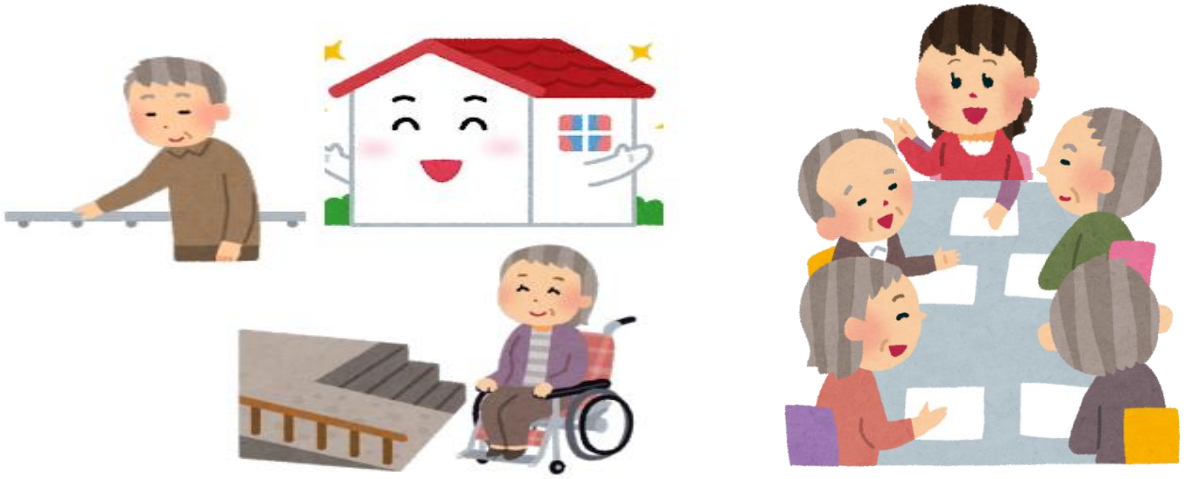
行政(介護予防係・地域包括支援係)

指定居宅介護支援事業所
関係機関(事業所・関係機関)

ICT きたそらりんく
派遣スケジュールに予約。

深川市立病院 電話予約。

保健師・ＣＭがリハ職に
基本情報と依頼文章を提出。
ICT きたそらりんくか郵送。



担当者と一緒に、居宅訪問・介護予防事業等へ

リハ職が保健師・ＣＭ・関係者へ
地域リハビリ報告書を提出。
ICT きたそらりんくか郵送。

6-①. 情報共有と普及啓発について

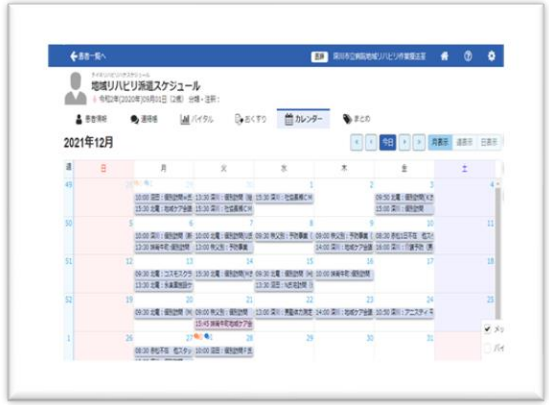
【情報共有】

・H28年度：スケジュールアプリで派遣予約する。

・R２年度：**ICT「きたそらりんく」**派遣予約。
リハ支援内容について情報共有する。

・R３年度：きたそらりんくに**各市町専用リハビリ相談室設置。**個人情報取り扱い可とする。

・**調整会議**：年2回各市町地域リハ担当者と協議する。



リハ派遣スケジュール

各市町専用リハ相談室

【普及啓発】

・H28年度：各市町地域リハ担当者と**関係機関21カ所に訪問**し普及啓発を図る。

・H29年度：**北空知介護支援専門連絡協議会総会**普及啓発。

：介護支援専門員スキルアップ研修会にて**事例検討会(リハ職交流会)**開催する。

・地域ケア会議：各市町 **月毎**の地域リハ進捗状況報告。
各市町 **年度毎**の地域リハ事業実績報告。

北空知介護支援専門連絡協議会総会

スキルアップ研修会(リハ職交流会)

6-②. 情報共有と普及啓発について

・保健師、介護支援専門員、関係者による対象者への説明や普及啓発に活用する。

【北空知地域リハビリパンフレット】

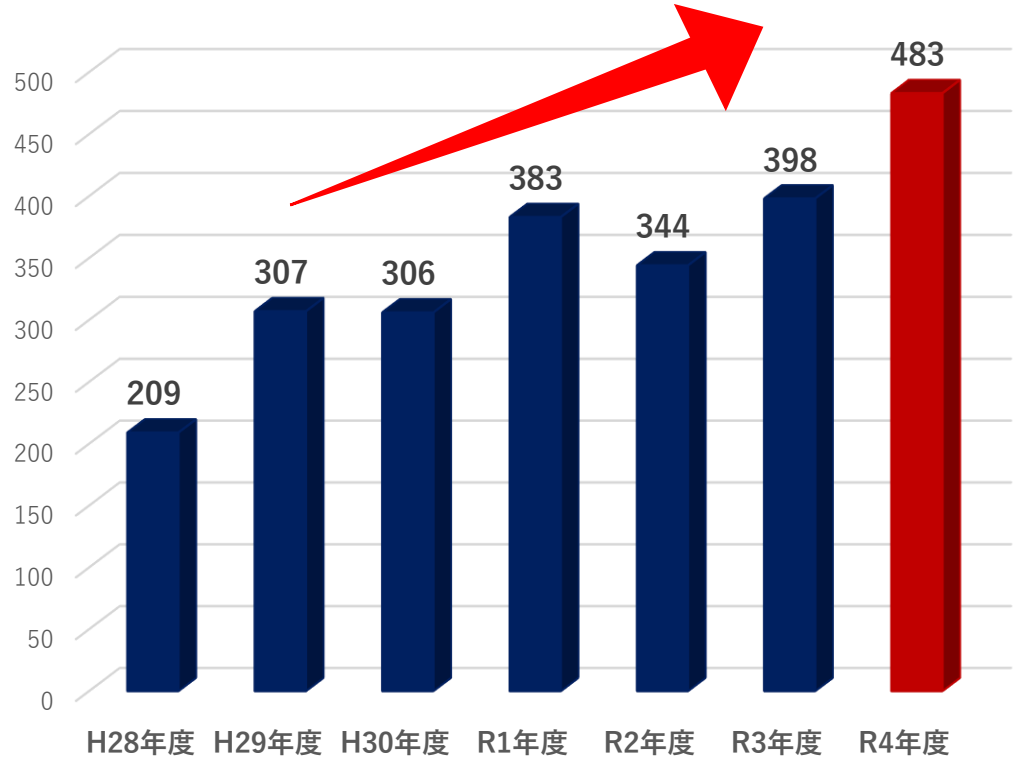
7.　７年間の実績について

・1市4町は共通して**居宅訪問・担当者会議への助言依頼が多くを占める。**
その他の事業については、各市町の実情により活用状況が異なる。

【H28年～R4年度 市町別実績件数】

7年間	深川市	妹背牛町	秩父別町	北竜町	沼田町	合計	割合
居宅訪問	293	110	226	113	150	892	37.5%
通所訪問	37	27	0	68	12	144	6.0%
介護予防	126	28	29	17	59	259	10.9%
担当者会議	228	90	220	127	124	789	33.1%
ケア会議	80	72	36	31	32	251	10.5%
研修会	16	0	5	15	10	46	1.9%
合計	780	327	516	371	387	2381	

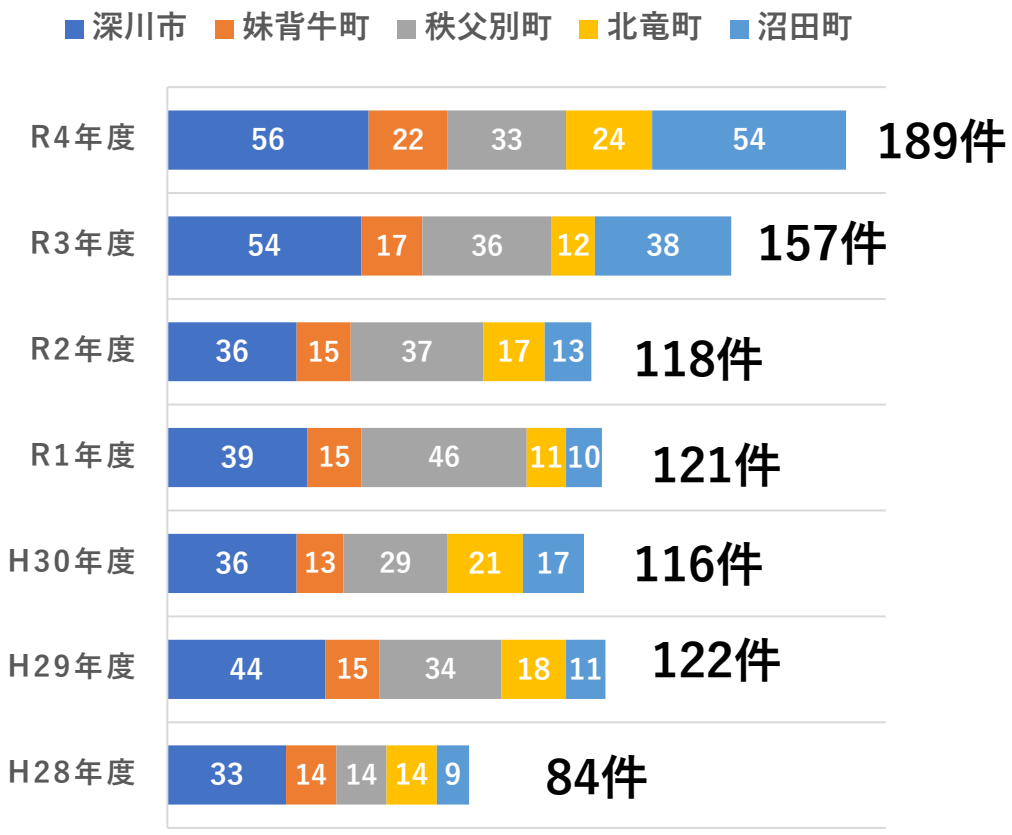
【H28年～R4年度 実績件数】



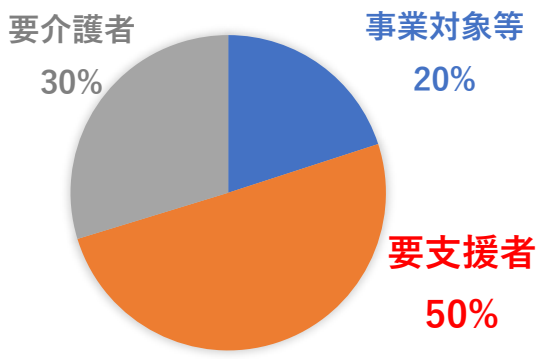
8-①. 直接的個別指導（居宅訪問への参画）

・居宅訪問では、保健師・介護支援専門員と同行し、生活期リハビリテーションに関わる自助、環境整備、活動と参加への助言を行う。

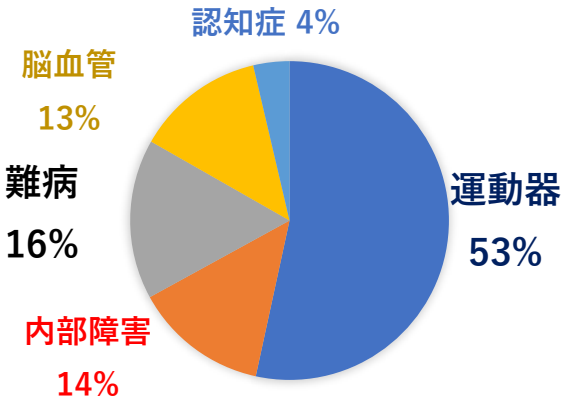
【居宅訪問 年度別実施件数】



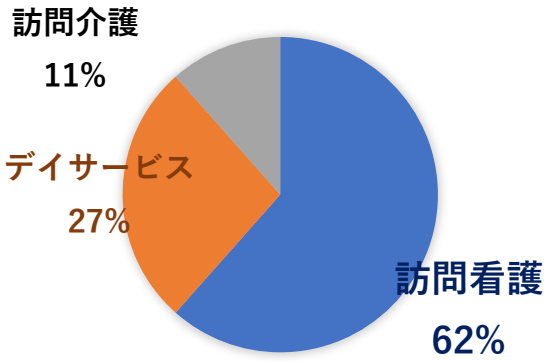
【R4年度 対象者N189】



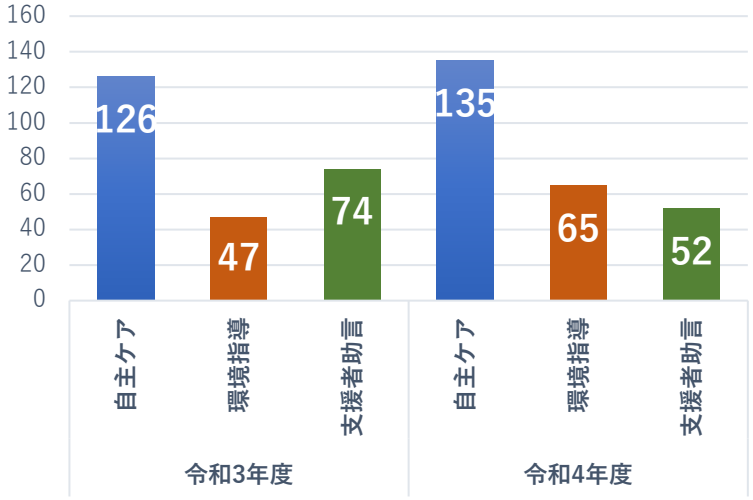
【R4年度 主疾患N189】



【R4年度 対象者N52】



【R4年度依頼内容延べ件数】



8-②. 直接的個別指導（事業報告書）

・評価結果は数値や印で変化を示し、助言は簡潔な文章で記載する。
資料は写真等で助言内容や変化を理解しやいように作成し、本人・関係者の動機を高める。

【報告書】

心身機能	◎良好　○やや良好　△やや低下　×低下		ADL	◎良好　○可能　△一部介助　×全介助　－非実施	
日付		状況	日付		状況
上肢ROM			起居動作		
下肢ROM			立ち上がり		
上肢筋力			室内独歩		
下肢筋力			屋外独歩		
握力(R/L)			段差昇降		
感覚障害			食事・排泄		
疼痛			更衣・整容		
筋緊張			入浴動作		
認知機能			IADL	◎良好　○可能　△一部介助　×低下　－非実施	
バランス			内服・金銭		
			調理		
助言・検討内容			食器洗い		
			掃除・整理		
			洗濯・干す		
			他者交流		
			休憩・作業		
			外出・散歩		
			買物・通院		

【助言資料】

助言資料は、意欲が高い対象者は生活リハビリとして生かすことができる。

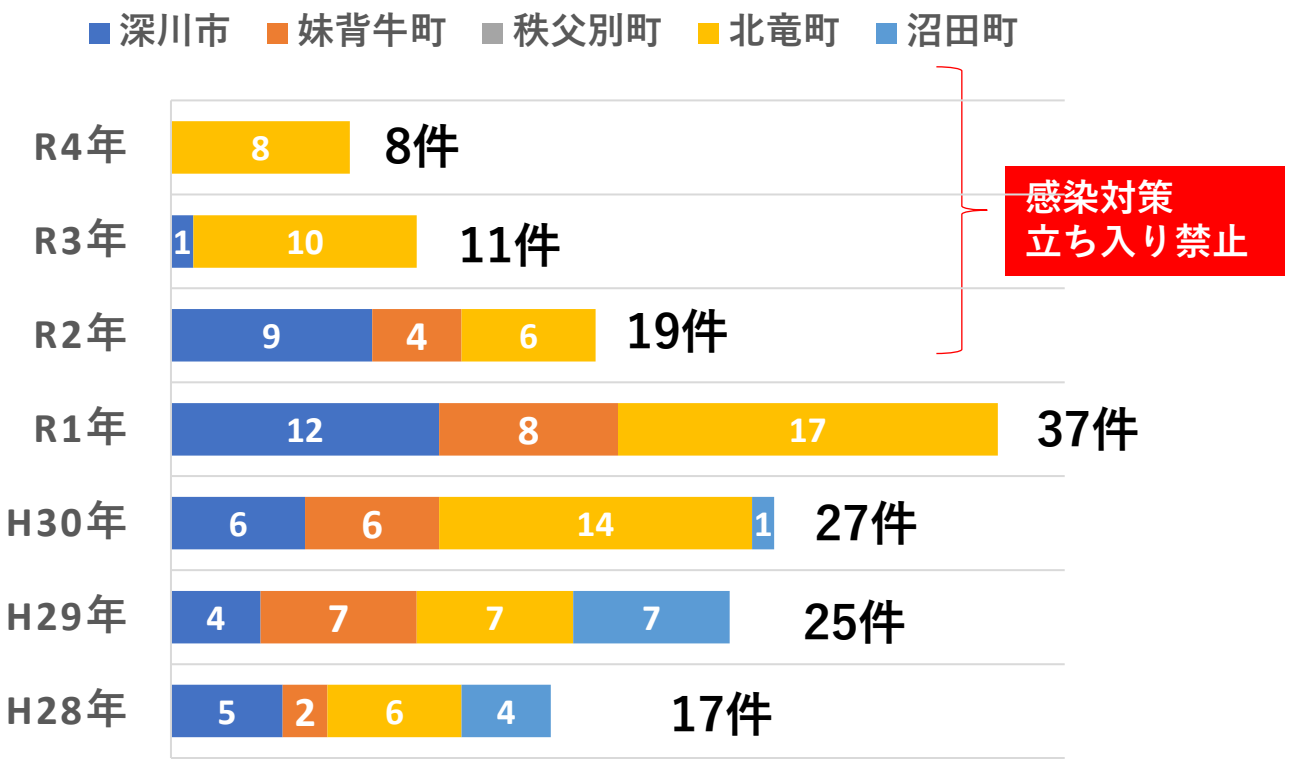
意欲が乏しい対象者の行動変容は難しく、支援関係者の資料として活用される。

9. 間接的個別指導（通所訪問・地域ケア会議への参画）

・通所訪問では、保健師・介護支援専門員と同行し、集団活動への助言、個々の課題解決に向けたスタッフの支援方法について助言する。

・地域ケア会議での事例検討会では、自助・環境整備・活動と参加に向けた助言を行う。

【通所訪問 年度別実施件数】



送迎車のステップや
上がり框の昇降練習

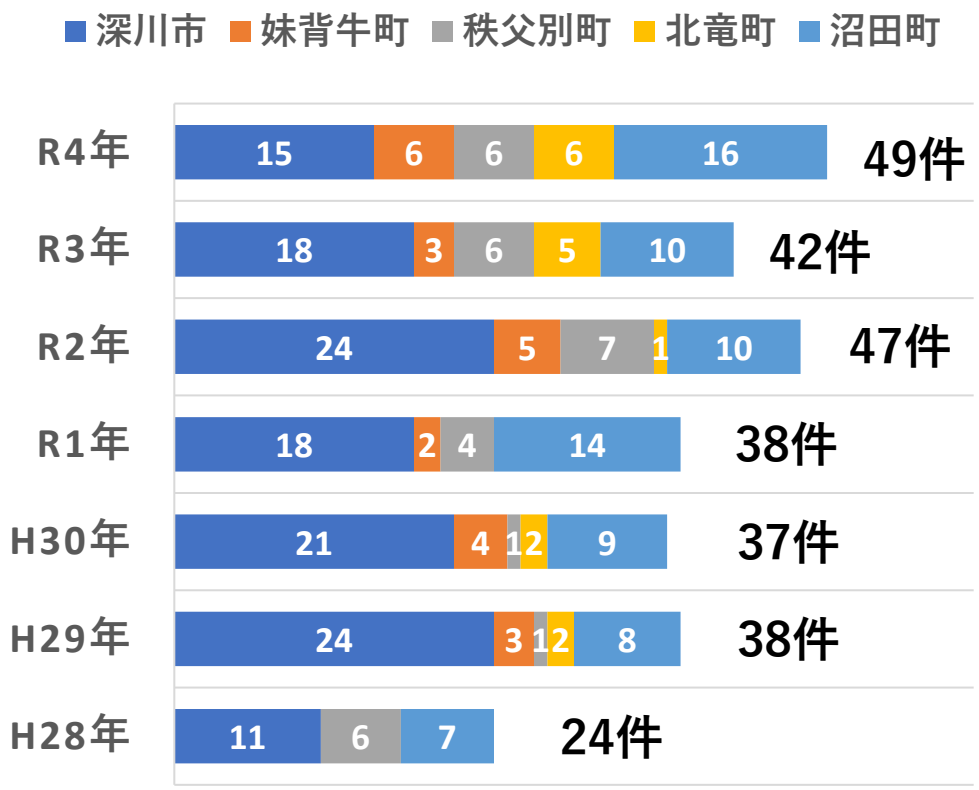
体力測定結果から弱点克服

地域ケア会議　事例検討会

10-①. 直接・間接的指導（介護予防事業への参画）

・住民主体のサロン等に対し、健康講話、体力測定、SF-8等を定期的に実施し、
自助・参加の動機を高める。

【介護予防事業 年度別実施件数】



サロン等にて健康講話

体力測定4項目

SF-8健康感の調査

10-②. 直接・間接的指導（介護予防事業への参画）

【男塾：体力測定5段階】

21名	初回 平均値	最終 平均値
握力右/左	3.1/3.1	4.0/4.1
片脚立ち	3.3	3.6
立ち上がり	4.2	4.5
歩行速度	2.8	3.3

・全項目改善し脚力は高値を保持。
・バランスや敏捷性不十分。

【男塾：健康感SF-8】

21名	初回 平均値	最終 平均値		初回 平均値	最終 平均値
全体的健康感	3.0	3.0	活力	3.0	3.0
日常役割(身体)	2.0	2.0	社会生活機能	2.0	2.0
身体機能	2.0	2.0	心の健康	2.0	2.0
疼痛	3.0	2.0	日常役割(精神)	2.0	2.0

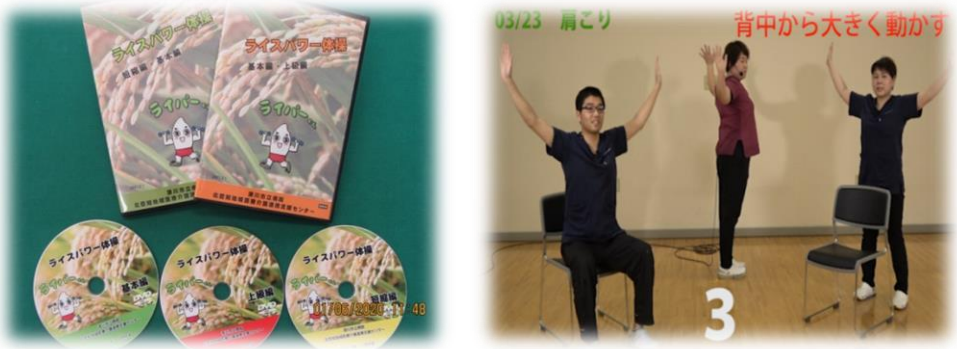
・健康感が高い集団。運動が疼痛緩和(3.0➡2.0)に効果的であった。
・皆とやれば頑張れる。体の芯が安定した等の感想あり。

10-③. 直接・間接的指導（介護予防事業への参画）

・ライスパワー体操DVD、症状別パンフレットを深川市と共同制作し自助や互助の普及啓発に活用する。

・体操サポーターの養成を支援に参画する。

症状別パンフレット8種類



ライスパワー体操DVD

短縮編：初心者向け7分　**基本編**： 一般向け18分

上級編： 負荷付き15分

高齢者の困り事に対する対処法を紹介。

①口腔機能 ②膝痛予防 ③認知症予防 ④転倒予防
⑤尿漏れ予防 ⑥腰痛予防　⑦足趾変形予防
⑧肩こり予防

サポーター養成にて体操指導・体力測定指導

10-④. 直接・間接的指導（特養・通所事業所スタッフ向けの研修会）

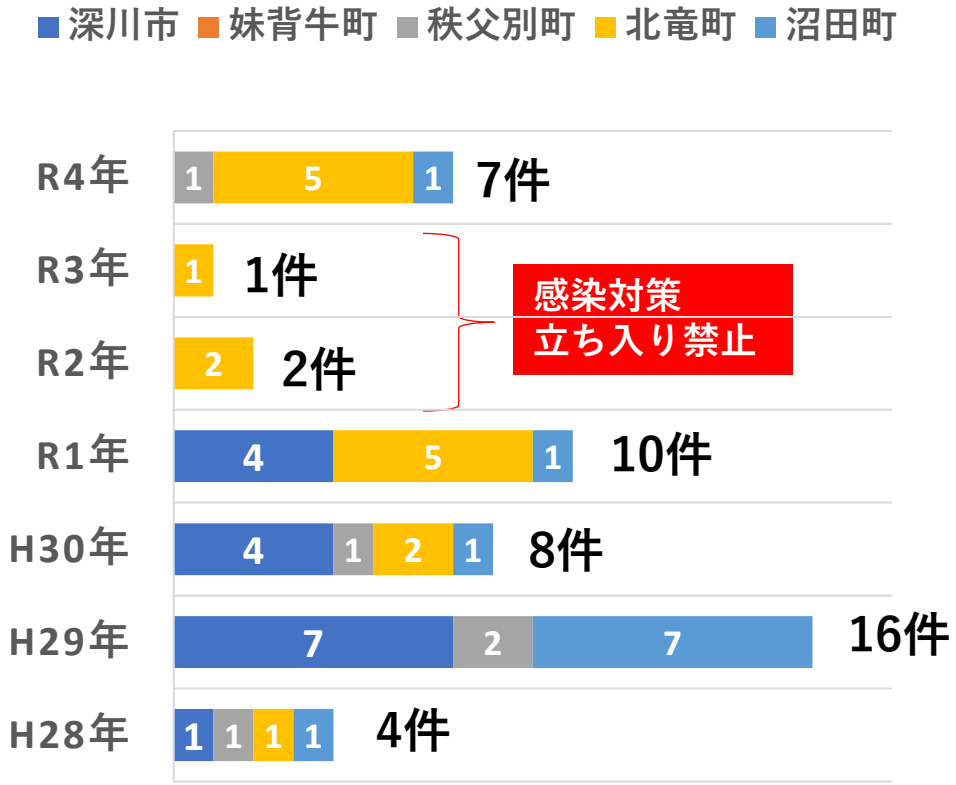
・特養、通所事業所スタッフ様に対し、リハビリ方法や介助方法などについて
実技や座学研修を行う。

レクで浮腫予防

GHで入浴動作実技指導

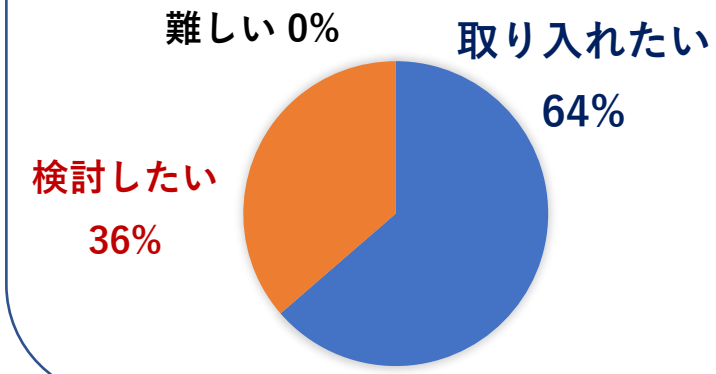
特養で摂食嚥下指導

【スタッフ研修会 年度別実施件数】



アンケート調査　※一部抜粋

【研修内容をDSで活用したい？】



【研修内容の感想】

・いつもの運動に少し変化を加えることで効果も変わると分かった。

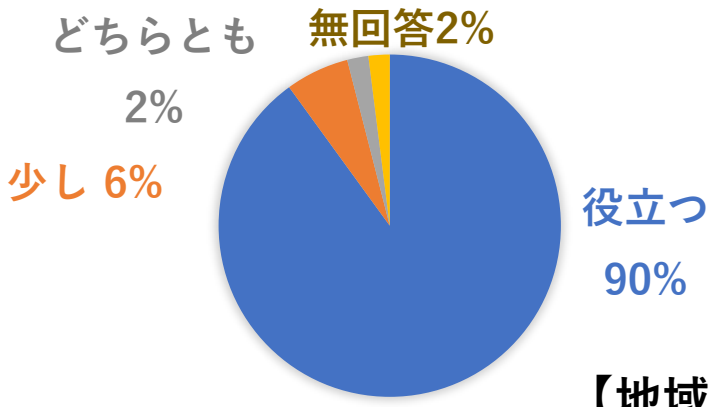
・利用者に受け入れてもらいやすい内容を教えてもらった。

・疾患と症状がわかりやすくて良かった。

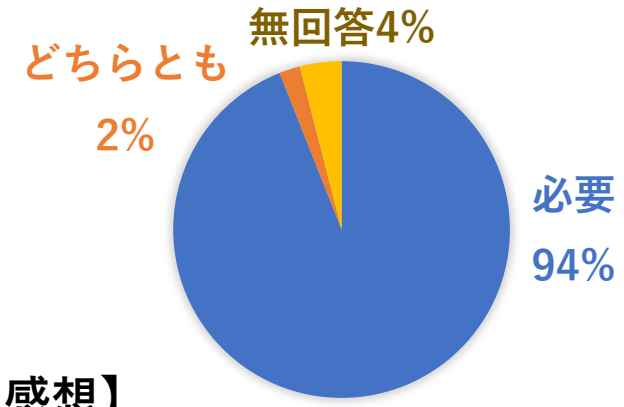
11. 北空知地域リハアンケート調査　※令和2年度実施(一部引用)

対象：地域包括支援センター(保健師、介護支援専門員)、　居宅介護支援事業所(介護支援専門員)
方法：アンケート調査67名(回収率87％：58名)

【リハ助言はケアプランに役立ちますか？N50】



【地域リハの必要性を感じますか？N50】



【地域リハの感想】

- 訪問により、対象者やご家族様の満足感、又安心して運動を取り組める。
- 通所では他の利用者の方々にも良い影響を及ぼす。
- 写真資料や結果の見える化は、ご本人様や支援者の意欲が向上。
- CMアセスメント時にリハ視点を取り入れたケアプランが作成できる。
- 入院から退院後まで、切れ目なくリハ職と連携が図れることは大変心強い。

12. 人材育成について

◎北海度リハビリテーション専門職協議会による育成研修会

・介護予防アドバイザー養成研修

・地域ケア会議アドバイザー養成研修

・地域リハビリ連携強化研修会

・災害時のリハビリ支援研修会

入退院支援研修会

◎北空知地域医療介護確保推進協議会による研修会

・北空知入退院支援研修会

・認知症初期支援研修会

・多職種連携合同研修会

多職種合同研修会

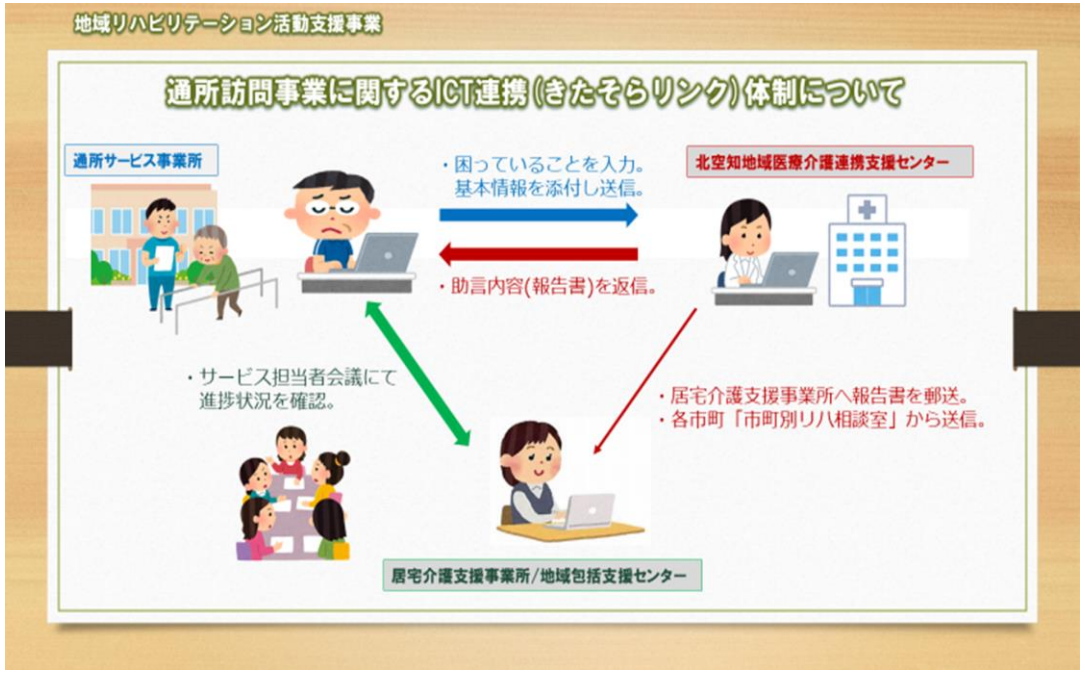
◎北空知介護支援専門員連絡協議会による研修会

13. 今後の展望について

課題①

・**コロナ感染対策により通所訪問が困難となり、事業所スタッフとリハ職が協議する場が減少している。**

対策➡ 通所事業所スタッフに、地域リハに対するニーズ調査を行い、リハ職とのICT活用した連携方法を推進する。



アンケート調査 ※一部抜粋

【リハ支援で困っていることはあります？】

・利用者の求めることに対するリハビリが行えているのか不安を感じる。
・症状に適切な運動なのか判断しにくい。
・集団体操がマンネリ化している。
・生活場面での注意点について。
・専門的な知識が必要なとき困る。
・ちょこっと相談できると助かる。

13. 今後の展望について

課題②

・多職種への普及啓発と連携効果の検証。
・地域リハ職のスキルアップを図る。

対策➡ケアマネスキルアップ研修会にて多職種へ地域リハの普及啓発を図る。
➡居宅訪問・介護予防事業等の検証に向け、評価方法について検討する。
➡リハ職間で事例検討会を開催しスキルアップを図る。

令和5年7月北空知介護支援専門連絡協議会
スキルアップ研修会へリハ職参加。

作業療法士 永洞氏より認知症に
対する地域リハ介入事例を紹介する。

グループワークでは、認知症ケア
に対する地域リハ活用について
話し合う。